

保存版

令和5年2月作製

砂川市

防災ハザードマップ



避難行動判定フロー

あなたがとるべき避難行動を確認

ハザードマップで自分の家がどこにあるか確認し、印をつけてみましょう。

◀ハザードマップは浸水や土砂災害が発生するおそれの高い区域を着色した地図です。着色されていないところでも災害がおこる可能性があります。

家がある場所に色が塗られていますか？

いいえ

色が塗られていなくても、周り比べて低い土地やがけのそばなどにお住まいの方は、砂川市からの避難情報を参考に必要に応じて避難してください。

はい

災害の危険があるので、原則として、自宅の外に避難が必要です。

例外

浸水の危険があっても、自宅が
①早期の立退き避難が必要な区域外で、
②2階建以上の建物やマンションの上層階等想定される浸水の深さより高い位置にある場合は自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。
土砂災害の危険があっても、十分堅牢なマンション等の上層階に住んでいる場合は自宅にとどまり安全確保をすることも可能です。

ご自身または一緒に避難する方は、避難に時間がかかりますか？
または、ご自宅は早期の立退き避難が必要な区域内ですか？

いいえ

はい

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や、知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル3が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう
(日ごろから相談しておきましょう)

警戒レベル3が出たら、砂川市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

安全な場所に住んでいて身を寄せられる親戚や、知人はいますか？

はい

いいえ

警戒レベル4が出たら、安全な親戚や知人宅に避難しましょう
(日ごろから相談しておきましょう)

警戒レベル4が出たら、砂川市が指定している指定緊急避難場所に避難しましょう

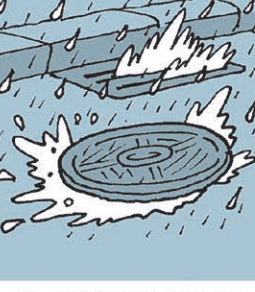
雨による危険度のチェックポイント

やや強い雨
(1時間に10~20mmの雨)



ザーザーと降る雨。地面からの跳ね返りで足元が濡れ、雨の音で話し声がよく聞き取れなくなります。

強い雨
(1時間に20~30mmの雨)



どしゃ降り。傘をさしても濡れ、車を運転する際にワイパーを早くしても見づらくなります。

激しい雨
(1時間に30~50mmの雨)



バケツをひっくり返したように降る雨。道路が川のようになり、高速道路走行時にブレーキが効かなくなります。

非常に激しい雨
(1時間に50~80mmの雨)



滝のように降る雨。水しぶきであたり一面が白っぽくなり、視界が悪くなります。車の運転は危険です。

猛烈な雨
(1時間に80mm以上の雨)



息苦しくなるような圧迫感があり、恐怖を感じる雨です。

風による危険度のチェックポイント

やや強い風
平均風速 (10~15m/s)



風に向かって歩けにくくなり、樹木全体が揺れ始めます。

強い風
平均風速 (15~20m/s)



風に向かって歩けなくなり、転倒する人が出ます。電線が鳴り始め、看板やタタン板が外れ始めます。

非常に強い風
平均風速 (20~30m/s)



何かにつかまっていないと立てられません。細い木の幹が折れ、根の張っていない木が倒れ始めます。通常で運転するのが困難になります。また、看板の落下や飛散が発生します。

猛烈な風
平均風速 (30m/s以上)

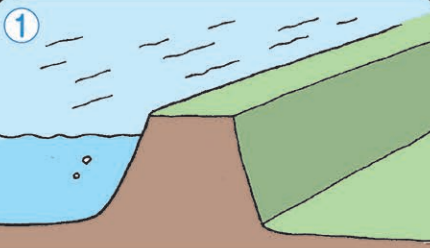


屋外での行動は極めて危険です。多くの樹木が倒れ、電柱や街灯で倒れるものがあります。ブロック塀が倒壊する場合があります。

洪水についての基礎知識

●外水はんらん

①



大雨や雪解けによって、川の水量が増え、水かさ上がり始めます。

②



堤防いっぱいまで水が増えると、土でできた堤防に圧力がかかり始めます。

③



水圧に堤防が耐えられなくなると、一部が崩れ始めます。


④



堤防の崩れた場所を通過して勢いよく水が流れ出し、家に襲いかかります。


●内水はんらん

①



街などに降った雨は、下水道(雨水管)を通過して川に排水されます。

②

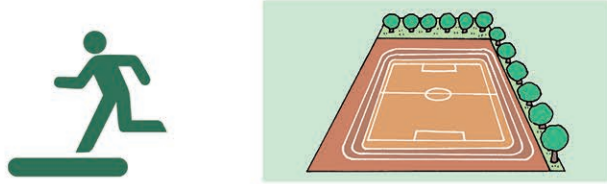


大雨が降ると、川の水位が上がり、排水されずにあふれてしまいます。

災害から身を守る

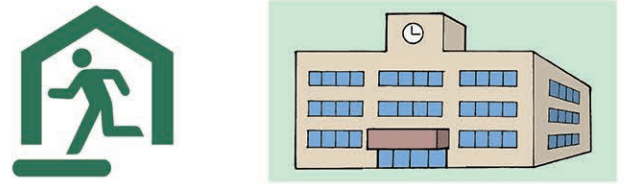
指定緊急避難場所と指定避難所の違い

指定緊急避難場所



災害の危機が迫っているときに、災害の危険から命を守るために一時的に避難する場所です。砂川市では学校のグラウンドや駐車場などの場所を指定しています。

指定避難所



災害の危険があり避難した住民等が災害の危険がなくなるまで必要な期間滞在し、または災害により自宅へ戻れなくなった住民等が一時的に滞在する施設です。砂川市では学校や体育館などの施設を指定しています。

避難情報の種類

災害時には、砂川市から災害情報や避難指示などの情報を発信します。避難の呼びかけを受けたときは、速やかに命を守る行動をとりましょう。また、危険を感じた場合は自主的に避難しましょう。

警戒レベル	警戒レベル1	警戒レベル2	警戒レベル3	警戒レベル4	〈警戒レベル4までに必ず避難!〉	警戒レベル5
取るべき行動	災害への心構えを高める	自らの避難行動を確認	危険な場所から高齢者等は避難	危険な場所から全員避難		
避難の情報	早期注意情報(気象庁)	大雨・洪水注意報(気象庁)	高齢者等避難※2(砂川市が発令)	避難指示(砂川市が発令)		緊急安全確保※1(砂川市が発令)

●警戒レベル5は、すでに安全な避難ができず命が危険な状況です。**警戒レベル5緊急安全確保**の発令を待ってはいけません!

●警戒レベル4避難指示で危険な場所から全員避難しましょう。

●避難に時間のかかる高齢者や障がいのある人は、**警戒レベル3高齢者等避難**で危険な場所から避難しましょう。

※1すでに災害が発生・切迫しており、市町村が災害の状況を確実に把握できるものではない等の理由から、警戒レベル5は必ず発令される情報ではありません。

※2警戒レベル3は、高齢者等以外の人も必要に応じ普段の行動を見合わせ始めたり、避難の準備をしたり、危険を感じたら自主的に避難するタイミングです。

水平避難と垂直避難

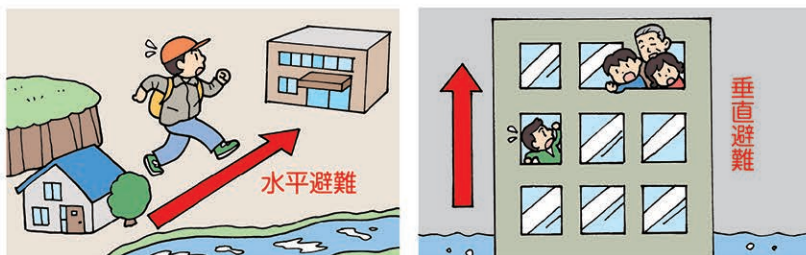
災害が迫った時、置かれた状況は一人ひとり異なります。それぞれが自ら判断し適切な行動を取らなければなりません。

危険が切迫している場合は指定された指定緊急避難場所への移動(水平避難)だけではなく命を守る最低限の行動が必要になることもあります。

たとえば

1. 夜間や急激な豪雨により避難経路上の危険箇所がわかりにくい
2. 膝上まで浸水している
3. 膝下までの浸水であるが流れが速い

このような場合は屋外への避難は危険です。建物損壊の危険がなければ自宅や近隣の頑丈な建物の上階に避難(垂直避難)し救助を待つことも検討してください。



情報の入手方法

テレビ、ラジオ、広報車、地デジ広報、インターネット、砂川市LINE公式アカウント、スマートフォンの災害情報アプリ、携帯電話の緊急速報メールなど



緊急速報メールによる通知例
(平成28年8月20日の大雨時)



受信メール
2016/08/20 14:44
砂川市：避難勧告
08/20 14:43
地区：一心、親友、東和、十八日、駅前、大沼、共福、津軒、若葉、のぞみ
避難所：地域交流センターゆう、砂川小学校、砂川中学校
理由：ハンク歌志内川水位上昇のため
詳細はテレビ・ラジオ等でご確認下さい
北海道防災情報
(北海道砂川市)

地上デジタルテレビで河川情報が見られます

1 NHK(チャンネル3)を選択

3 防災・生活情報を選択

2 リモコンのdボタンを選択

4 NHKトップメニューの「河川水位情報」を選択



自ら積極的に情報収集を

集中豪雨や台風等が発生した場合、小さな河川は極めて短時間であふれたり、堤防が決壊するおそれがあります。確実に生命を守るために、市からの避難情報を待つだけではなく、インターネットの活用などで自ら積極的に情報を収集しましょう。気象庁のホームページでは、私たちの住む地域に迫る危険やその切迫度を分かりやすく情報提供していますのでご紹介します。

- ①砂川市のホームページを開く <https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/>
- ②「防災・防火情報」をクリックして表示を切り替え
- ③「自ら積極的に情報収集を(河川の水位や雨雲の動き等)」をクリックした先のページから確認したい情報を選択してください。



洪水キキクル



今後の推移

全国 石狩・空知・後志地方 砂川市の警報・注意報

石狩・空知・後志地方の警報・注意報 (注意警戒事項)
 20XX年X月18日04時32分 札幌管区気象台 発表
 注意警戒事項 石狩、空知、後志地方では、18日夕方まで低い土地の浸水に警戒してください。空知地方では、18日昼前から18日夕方まで暴風に警戒してください。

砂川市の警報・注意報 (今後の推移)
 20XX年X月18日04時32分発表

砂川市	18日						19日		備考・関連する現象	
	03-06	06-09	09-12	12-15	15-18	18-21	21-24	00-03		03-06
大雨(大雨)	50	50	50	50	50	30				浸水警戒
大雨(土砂災害)										土砂災害注意
洪水										
暴風	15	15	18	18	18	15				
雷	<	<	<	<	<	<				以後も注意報級 竜巻、ひょう
濃霧										以後も注意報級 視程200メートル以下

■ 警報(高潮以外)・高潮注意報(*1)
 ■ 注意報(高潮以外)・高潮注意報(*2)
 □ 予想範囲外

危険度や切迫度の詳細を素早く把握することができる

早期注意情報

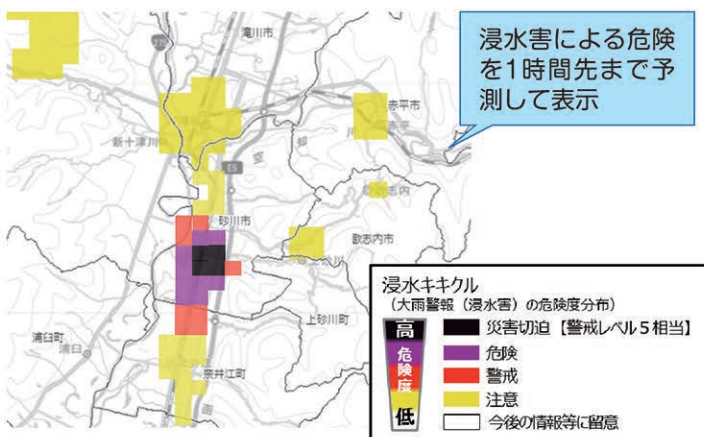
北海道空知地方	18日		19日			20日	21日	22日	23日
	12-18	18-24	00-06	06-12	12-24				
大雨	-	-	[高]	[高]	[中]	-	-	-	-
大雪	-	-	-	-	-	-	-	-	-
暴風(雷)	-	[中]	[高]	[中]	-	-	-	-	-

数日先の荒天について可能性を把握することができる

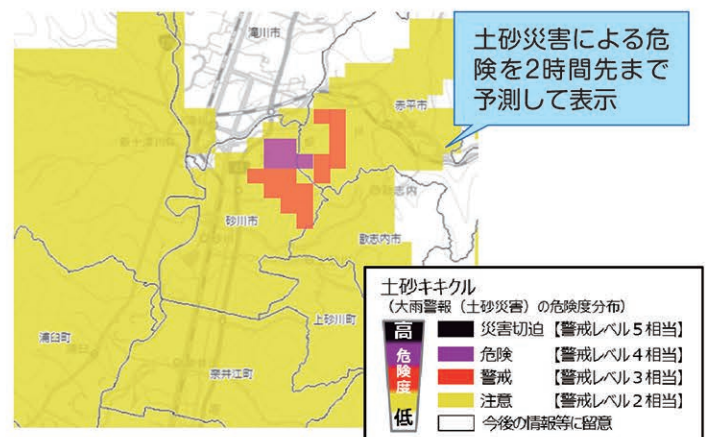


明日は大雨警報が発表されるかもしれない。遠出はせずに指定緊急避難場所を確認しておこう。

浸水キキクル



土砂キキクル



防災情報等を“砂川市LINE公式アカウント”で確認

砂川市LINE公式アカウントでは気象情報や避難所情報などの防災情報のほか、イベントなど様々な情報提供を行っています。
“もしも”の時に災害から身を守るため、ぜひ友だちに追加してください。



砂川市を
友だちに追加

防災情報等を“地デジ広報”で確認

市では、自宅などのテレビで最新の砂川市のイベントやお知らせ、災害などの緊急情報を見ることができる「地デジ広報」のサービスを行っています。スマートフォンやパソコンの操作が得意でない方も、普段使いなれた自宅のテレビで災害時の情報等を取ることができますのでぜひご利用ください。

1 UHB(チャンネル8)を選択

2 リモコンのdボタンを選択

3 リモコンの黄色ボタンを選択

4 見たい記事を選ぶ

※運動データ放送の場合は黄色ボタンを2回押す必要があります



災害用伝言ダイヤル ご存じですか？

地震などの大きな災害が起きると、家族や知人などに連絡をとるため、多くの方が一気に電話をかけ、電話がつながりにくい状況になります。そんな時に役立つサービスがNTTの「災害用伝言ダイヤル」です。



災害用伝言ダイヤル 171 で声を残す



Web版 パソコンや携帯電話による確認方法

Web171
携帯災害用
伝言板

各社のトップメニューから「災害用伝言板」を開く

・伝言を登録する場合 **登録** を選択して伝言を入力する。
 ・伝言を確認する場合 **確認** を選択し、被災地の人の携帯電話番号を入力して伝言を見る

パソコン・携帯電話(インターネット)のEメールを利用する

固定電話や携帯電話が使えない状況でも、パソコン(インターネット)や携帯電話を使ったEメールは、比較的届きやすい場合があります。

防災情報

市のホームページでは、最新の気象情報等を確認できるホームページをまとめてリンクしていますのでぜひ活用してください。

【リンク先の例および確認できる防災情報】

- ・川の水位情報 … 河川の水位状況や危険度
- ・降水ナウキャスト … 雨雲の動き
- ・北海道防災ポータル … 災害の発生状況や避難情報、警報が出ている場所
- ・tenki.jp … 砂川市の天気予報 など

砂川市のホームページ

<https://www.city.sunagawa.hokkaido.jp/>



ホームページのトップページから、「防災・防火情報」⇒「自ら積極的に情報収集を(河川の水位や雨雲の動き等)」へお進みください。



防災に関するお問い合わせ先

砂川市役所 市長公室課防災対策係

(代) 0125-54-2121

このハザードマップは、サマージャンボ宝くじの収益金を活用して作成しています。



災害への備え～家庭での備蓄

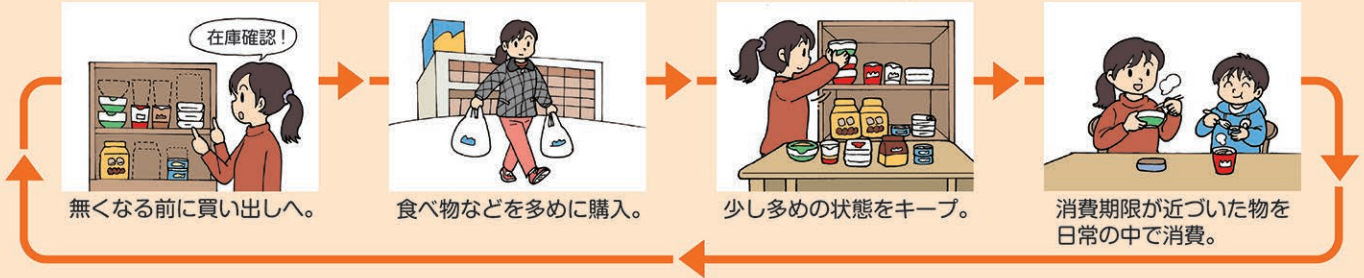
災害に備え、食料等を備蓄する必要性を感じる方は少なくありませんが、数量の管理や消費期限の確認などを考えると、実際に備蓄を継続するのはなかなか難しいものです。しかし、普段から利用しているカップ麺やレトルト食品等を少し多めに購入し、日常生活で消費しながら備蓄する「ローリングストック法」であれば、いざという時にも日常生活に近い過ごし方ができます。

ローリングストック法

定期的に食べて、食べた分を買い足し備蓄していく方法。食べながら備えるため消費期限が短いものでも非常食として扱えます。

備蓄例

カップ麺、レトルト食品、缶詰など



非常持出品

一次非常持出品(例)

一次非常持出品とは、大地震や洪水が発生して避難するときに、まず最初に持ち出すべき物です。

貴重品

現金、預金通帳、印鑑、免許証、保険証など



救急医薬品

絆創膏、傷薬、包帯、胃腸薬、持病のある人は常備薬など



懐中電灯・携帯電話・携帯ラジオ・充電器

できれば一人一つ、予備電池もあれば良い(発電式もあります)



衣類・下着類

普段着、下着、タオル、靴下など



非常食・飲料水

乾パンや缶詰など火を通さなくても食べられる物。缶切や栓抜きも



その他

ティッシュ、軍手、ロープ、ライター、ラップ、アルミホイル、生理用品、めがね、マスクなど



二次非常持出品(例)

二次非常持出品とは、避難した後で少し余裕ができてから安全を確認して自宅へ戻り、避難所へ持ち出したり、または自宅で避難生活を送ったりする上で必要なものです。最低3日間(推奨は1週間)は自活できるように準備しておきましょう。

食糧

カップ麺など簡単な調理で食べられる食品



燃料

卓上コンロや固形燃料



飲料水

一日に必要な量は一人3ℓが目安



これらの物も必要です

赤ちゃんがいる場合
粉ミルクや哺乳瓶、離乳食、紙おむつ、母子手帳等

お年寄りがいる場合
服用している薬、めがね、入れ歯、補聴器、大人用おむつ等

避難先では3つの密を避けましょう!

換気の悪い
密閉空間

1時間に1回は換気する

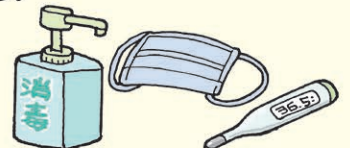
多数が集まる
密集場所

避難者同士の距離を保つ

間近で会話や発声をする
密接場所

近距離での会話や発声は最低限で

災害時には、感染症の拡大リスクが高まります。自宅以外へ避難する場合、必要になる携行品を準備しましょう。また避難前には検温し、体調を確認しましょう。



3つの条件がそろう場所がクラスター発生リスクが高い

ミサイル落下時の身の守り方

ミサイルが落下した場合にどのように自分の身を守るか、避難方法を確認しておきましょう。

ミサイルが落下したらどんなことがおこる？

- 爆発で強い風が吹いて、外に飛ばされてしまう。
- ミサイルの破片が飛んでくる。
- 窓ガラスが割れて、飛んでくる。

ミサイルが落下する可能性があるときには「Jアラート」を通じて、テレビやラジオ、携帯電話やスマートフォンから緊急情報が流れます。

もしも「Jアラート」が流れたら…

屋外に いるときには

- 強い風や破片を避けるために近くの建物の中か地下に入りましょう。
- すぐに建物の中や地下へ避難できないときには、物陰に身を隠すか、地面に伏せて頭を守りましょう。

建物の中に いるときには

- 窓ガラスが割れて、けがをするかもしれないため窓から離れるか、窓のない部屋へ移動しましょう。
- 低い姿勢で頭を守りましょう。

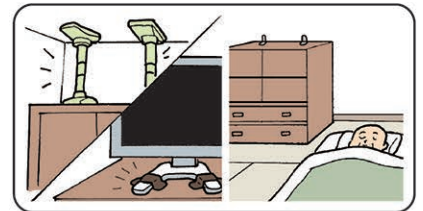
そのほか、武力攻撃やテロなどがおこった際の身の守り方については、下記のサイトをご覧ください。

内閣官房国民保護ポータルサイト <https://www.kokuminhogo.go.jp/>

地震に備える

平常時

- 窓ガラスには飛散防止フィルムを貼り、家具の上には物を置かないようにしましょう。
- 家具の転倒、落下防止対策をしましょう。
- 寝室や人の出入りが多い部屋には大きな家具を置かないようにしましょう。
- 安全に避難できるように、玄関や廊下などに家具や荷物を置かないようにしましょう。



地震発生

- 落ち着いて、まずは大きな家具や窓ガラスから離れ、姿勢を低くして自分の身を守りましょう。揺れが続いている場合はテーブルや机の下で安全を確保しましょう。



1～5分

- 揺れが収まったら落ち着いて火の始末をしましょう。
- 家族全員の安全を確認しましょう。
- ドアや窓を開けて出口を確保しましょう。
- ガラスの破片などから足を守るためにスリッパや靴をはきましょう。
- 余震に注意しながら行動しましょう。



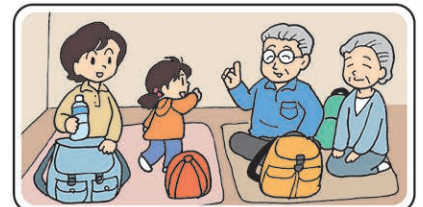
15分～ 数時間

- テレビやラジオなどで正しい情報を収集しましょう。
- 家屋の倒壊や火災の延焼などのおそれがあれば避難しましょう。
- 状況に応じて隣近所と協力して消火活動や救出活動を行いましょう。
- 避難する際にはガスの元栓を閉め、電気のブレーカーを落としましょう。



～3日 くらい

- 生活必需品は非常持出品でまかないましょう。
- 家屋の倒壊のおそれがある場合は、安全性が確認できるまで近づかないようにしましょう。
- 避難生活では、集団生活のルールを守りましょう。



Q 必ず指定緊急避難場所や指定避難所へ避難しなければならないのでしょうか？

A 災害の種類・規模にもよりますが、より安全に避難できるところに状況に応じ避難することが求められます。一時的な避難場所として公園、町内会館、親戚や友人の家なども有効な自主避難先であり、避難が長期化する場合等には指定避難所へ移動するといった対応も十分考えられます。

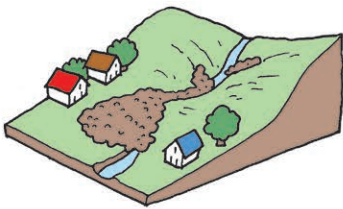
Q 自宅外へ避難するとき、何に注意すべきでしょうか？

A 浸水した場所を通って避難することは危険です。自宅外へ避難する場合は、浸水が始まる前の早めの段階にしましょう。普段から非常持出品の準備をしておくことや、避難先・避難ルートを確認しておくことなども重要です。

Q 避難指示などが発表されるのを待ってから避難したほうがいいですか？

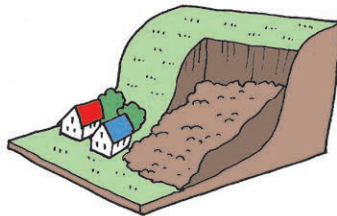
A 暴風雨の状況下では「避難情報(高齢者等避難、避難指示、緊急安全確保)の発表に気づかなかった」といった事態も起こりえます。避難情報を待たずとも、早めの段階で豪雨や河川の状況に応じて自主的に判断し、避難することも重要です。

土砂災害の豆知識



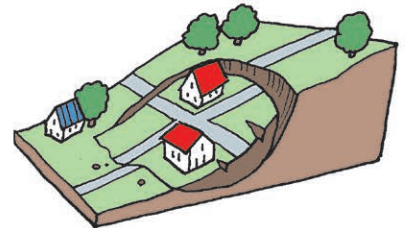
■土石流

山腹、川底の石や土砂が長雨や集中豪雨などによって一気に下流へと押し流される現象のことをいいます。



■がけ崩れ(急傾斜地の崩壊)

地中にしみ込んだ水分により斜面が不安定になり、雨や地震などの影響によって急激に崩れ落ちることをいいます。



■地すべり

斜面の一部あるいは全部が地下水の影響と重力によってゆっくりと斜面下方に移動する現象のことをいいます。

土砂災害の危険がある場所を表す用語の説明は以下のとおりです。

危険箇所…土砂災害のおそれがある箇所

土砂災害警戒区域…危険箇所のうち、土砂災害防止法に基づいて指定された区域であり、土砂災害が発生した場合に、住民の生命・身体に危害が生じるおそれがある区域

土砂災害特別警戒区域…危険箇所のうち、土砂災害防止法に基づいて指定された区域であり、土砂災害が発生した場合に、建築物が損壊して住民の生命・身体に著しい危害が生じるおそれや一定の開発行為の制限等がある区域

土砂災害

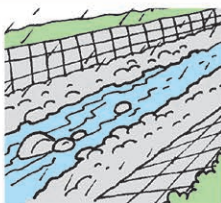
●こんな前ぶれ現象に注意！●

早めの避難を

次のような現象を察知した場合は、土砂災害が直後に起こる可能性があります。直ちに周りの人と安全な場所へ避難するとともに、関係機関へ通報してください。



山鳴りがする



雨が降り続けているのに川の水位が下がる



川の流が濁り流木が混ざり始める



小石がバラバラ落ちてくる

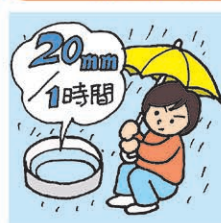


地面にひび割れができる



斜面から水がふき出す

雨に注意しましょう



土砂災害の多くは雨が原因で起こります。1時間に20ミリ以上、または降り始めから100ミリ以上の降雨量になったら、十分な注意が必要です。

逃げ方を覚えましょう



土石流は速度が速いため、流れを背にしたのでは追いつかれてしまいます。土砂の流れる方向に対して直角に逃げるようにしましょう。

指定緊急避難場所を確認しておきましょう



日頃から家族会議で指定緊急避難場所や避難する道順を確認しておきましょう。そうすれば、家族が一緒にいないときでも、指定緊急避難場所で落ち合うことができます。